

まにわの子



真庭市キャラクター
まにぞう・まにぞうファミリー

令和8年4月21日第5号

真庭市教育委員会学校教育課

第4次真庭市教育振興基本計画策定に向けて

若手職員審議会委員を募集します！

現行の第3次真庭市教育振興基本計画は？

「第3次真庭市教育振興基本計画」は、第3次真庭市総合計画と整合を取りながら、「個性と能力を十分に伸ばし、互いにライフスタイルを応援しあう『まち』の実現」を基本目標に、真庭の教育の方向性を中長期的に示すもので、真庭市総合教育大綱に掲げる理念の実現のため、以下の3つの柱を掲げ、2022年度～2026年度の5年をかけて具体的施策に取り組んできました。

3つの柱(方向性)

(1)一人ひとりの可能性を広げる

【具体的な施策】

- ①誰もが安心して学べる場づくりと格差のない学びの場づくり
- ②切れ目のない学びの場づくり
- ③個性や能力が輝くインクルーシブ教育
- ④個別最適化された学びや創造性を育む学びの充実
- ⑤知的探究に応える学習ソフトの充実
- ⑥教職員の指導力向上

【5年後の指標(KGI)】

- ①「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合→小・中学校ともに85%以上
- ②「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合→小学校90%以上、中学校85%以上

R7小89.8中87.9

(2)真庭を愛する「ひと」、心豊かな「ひと」をつくる

【具体的な施策】

- ①郷育を核にしたキャリア教育
- ②人材、市民団体を育成支援し、市民が活躍できる場づくり
- ③地域資源を活用した学びの仕組みづくり
- ④地域資源の再評価と新たな価値の創出

【5年後の指標(KGI)】

- ②「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と回答した児童生徒の割合→小学校75%以上、中学校60%以上

R7小86.1中88.9

(3)教育を地域で支える仕組みをつくる

【具体的な施策】

- ①施設改修計画(安全・長寿命化・コスト平準化・社会的ニーズ)
- ②学校給食を通じた食育・地産地消の推進～共同調理場化推進による安定した食材調達方法(地産地消)～
- ③個人と地域をつなぐ仕組みづくり
- ④生涯学習を推進する基盤整備
- ⑤公共図書館としての存立基盤の整備
- ⑥子どもの学びへの能動的な貢献
- ⑦市民がつながる地域交流拠点創出
- ⑧高校魅力化推進

R7小88.2中81.6



真庭市教育委員会
学校教育課

第4次教育振興計画策定に関わってみたい先生は、校長先生に相談するようお願いいたします。

審議会は、夏休みあたりから11月までの夜、3回程度行われる予定です。

校長先生は学校教育課田中までその旨の連絡をお願いします。メ切は5月8日(金)とします。

希望が多数の場合は、選考させていただく予定です。